CITROËN XM

CITROEN


CITROËN

CITROËN

アクティブセーフティのコンセプトから生まれた

仏の最高級インテリジェント・サルーン。
シトロエンXM。

フランスから久々に待望の高級車がデビューしました。フランスの最高級サルーンといえば、故ドゴール大統領など政府高官が会議場に乗りつける、優雅なシトロエンの姿を思い出しますが、その最後のモデルCXが登場してから、既に15年以上の歳月が経っています。そして1989年、シトロエンが発表したニューモデルXMは、その伝統にたがわずシトロエンらしいアヴァンギャルド性を全身に漂わせてのデビューです。新しいシトロエンのプレステージ・サルーンは、デザイン的フォルムの斬新性に加えて、メカニズムにも怠りなく先進性を詰め込んでいます。その最大の特徴は、シトロエン独創のハイドロ技術をより進化させた「ハイドラクティブ・サスペンション」に代表されるニュー・アクティブセーフティの考え方でしょう。道路や運転の変化を予知して、それに機敏に反応する、まさにインテリジェントなサルーンXM。ベルトーネ・デザインによるエアロダイナミック・フォルムに加えて、この世界最先端のメカニズムを搭載し、これからの新しい高級車の姿を提示しています。また、XMは単にステイタスとしてではなく、しっかりとしたポリシーをもった方の選ぶ高級車とは———という問いに対する明快な回答となるでしょう。世の中の高級志向の中で、自らのセンス、自らの生き方、そして自らの選択眼を愛する方へお届けする、新しいヨーロピアン・ステイタス、シトロエンXM。この車を通じて、高級車というものに対する日本人の考え方に新しい一石を投じたい、それがユーノスがシトロエンXMを選択した大きな理由です。

selected by EUNOS

CITROËN XM

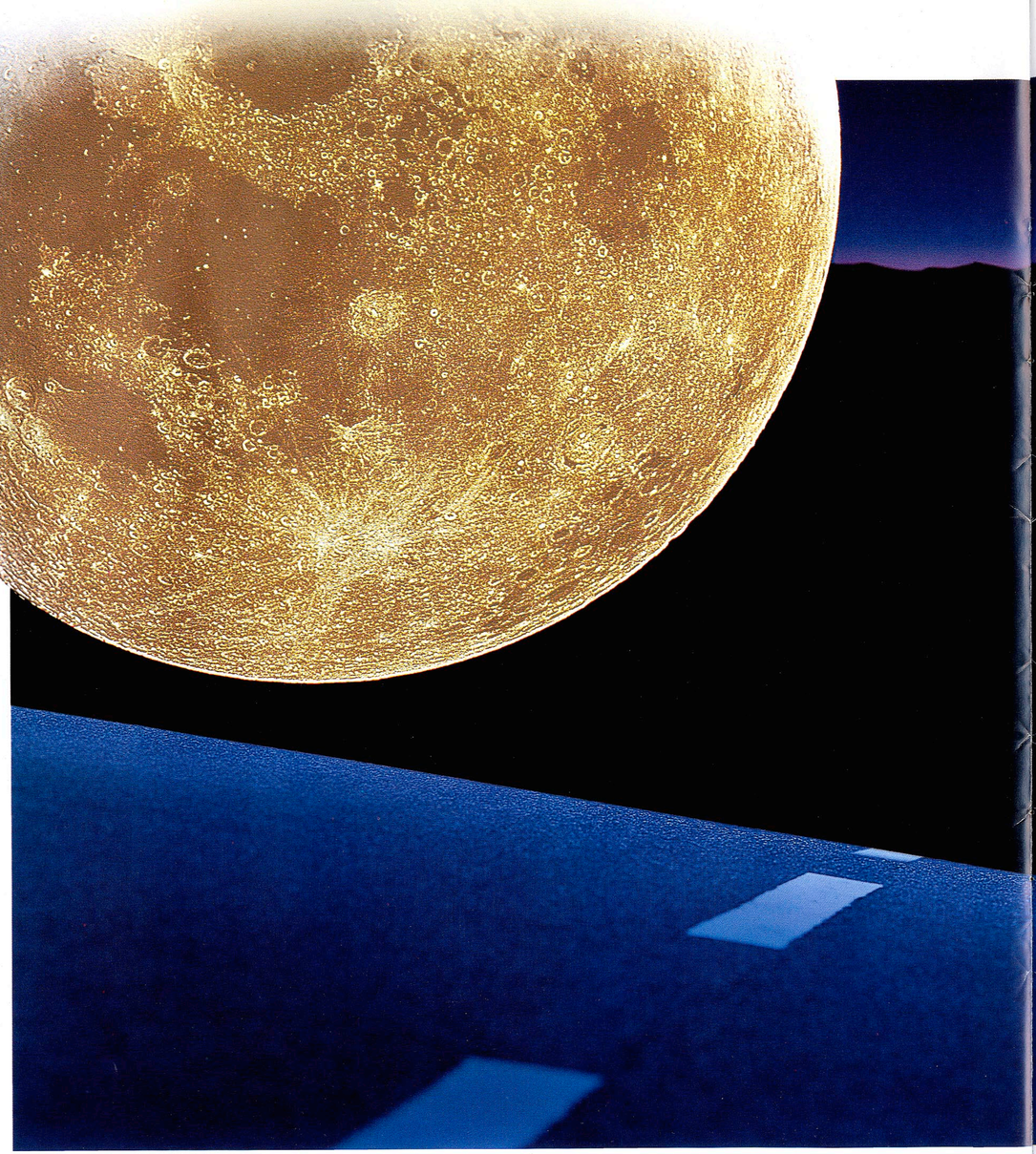




PHOTO:XM　BODY COLOR:グリドルメン

道を読む

いま、クルマは〝インテリジェンス〟を持った。道の変化を予知し、人間をアシストする。アクティブセーフティのシトロエンXM。

ヨーロッパの石畳をゆく。または、都会を外れて、田舎の曲がりくねった街道をゆく。さらに、時にはアウトバーンなどの高速道をゆく。この地球上には、さまざまな道があります。車に乗るということは、こうした個性ある道との出会いであると言って過言ではありません。また、同時にドライビングとは、雨や雪、横風や急な曲がり道、不意の障害物などさまざまな状況に合わせて、人間が瞬時に判断し、スムーズに対処していくことであると言えます。そして、これまではこのような機敏な反応は多くの場合、ドライバーである人間の側のテクニックを磨くことに負わされてきました。こうした状況を打破し、いわば人間の技能によって変化に対応するだけでなく、次に起こることをコンピュータで予知し、先進のテクノロジーで車の動きをコントロールすることはできないのか。まさに、シトロエンの技術者たちがチャレンジしたのは、こうした夢のような考え方への挑戦でした。

そして、新しいコンセプト「ニュー・アクティブセーフティ」という考え方が初めて提案され、その具現化が見事に結実した車が誕生しました。それがシトロエンが15年ぶりにデビューさせるフラッグシップ・カー、シトロエンXMなのです。シトロエンが新たに世の中に提示したニュー・アクティブセーフティとは、サスペンション、ステアリング、ブレーキの3つの主要要素をコントロールすることで確保されます。シトロエン独自の高圧油圧回路によって制御されるこれら3要素と、車に最もマッチングしたホイール、タイヤによって、XMは高いロードホールディング性能を獲得し、安全走行を実現しました。

その中心となるのは、XMにおいて初めて搭載された新開発の「ハイドラクティブ・サスペンション」です。このサスペンションは、単にソフトモードからハードモードへとサスペンションの硬さを変化させるだけのものとは根源的に異なっています。それは窒素ガスとオイルからなる独自の構造システムを持ち、車の各部分に設置されたセンサーからの情報をもとに、道や運転の状況に知的に反応する、いわばインテリジェント・サスペンションとでも言える画期的なものなのです。

XMのセンサーのデータは、コンピュータのメモリーに記憶されている基準と絶えず比較検証されます。コンピュータはその結果から、最適なサスペンション・モードを瞬時に選択。反応時間は、わずか0.05秒以下という短い時間です。そのために、搭乗者はその変化に気付くことなく、ドライビングの快適な乗り心地としなやかな操縦性能を楽しむことができます。サスペンションが自ら知的に反応する「ハイドラクティブ・サスペンション」においては、この「アンティシペート＝予知する」という考えと、運転者を「アシスト＝手助けする」ということが大きなテーマとなっています。

ところで、昔から車にとって、そのボディと道とを結びつけるサスペンションは、乗り心地と操縦性能を決定する重要な要素でした。そしてシトロエンは、つねにこの分野での広範な研究を積み重ねてきました。DS19に搭載されて話題を呼んだ「ハイドロニューマチック・サスペンション」の登場は、そうしたシトロエンの先駆的イメージを決定づけた出来事のひとつでした。

その直後の1950年代には、シトロエンはレーダーを使用して路面の凸凹を検知するサスペンション・システムに関してのパテントを正式に申請しています。これはまさに、今回のインテリジェント・サスペンション開発への最初のステップだったといえるでしょう。

シトロエンの技術陣は、ハイドロニューマチックをさらに進化・発展させ、これを最新のコンピュータ・エレクトロニクス技術と組み合わせて、画期的なサスペンションを誕生させました。それが「ハイドラクティブ・サスペンション」なのです。1989年。この革新的なサスペンションはシトロエンの新しいプレステージ・サルーンであるXMに搭載されてデビューしました。それ以来、ハイドラクティブ・サスペンションを中心とした、シトロエンのニュー・アクティブセーフティのコンセプトは世界のモーターシーンで大きな反響を呼び起こしています。

いまや、車が「道を読み」、次に起こることを予知し、素早くそれに対応する新たなアクティブセーフティの思想は、次代の車の能力を考える上で欠かすことのできない重要な規範となりつつあります。

言い換えれば、アクティブセーフティという考え方は、単に車に乗るのではなく、まさに車を楽しむという点に於いて、新しい基準を作り出していると言えるでしょう。

「ハイドラクティブは2000年への伝統である」「XMは本当のシトロエンだ。リムジンのような快適さ、スポーツカーのようなクイックなリアクションが楽しい」「エレクトロニクスとハイドロリックのハッピーな結婚である」など、XMは発表以来ジャーナリストの賞賛の声を集めています。さらに、XMはヨーロッパにおいて、数々の賞も受賞しています。そして、1990年には、ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤーを受賞するという大きな栄誉に輝きました。

一台でリムジンの豊かな乗り心地とスポーツカーの機敏な走りを味あわせてくれるXM。地球の大地という自然を自由にクルージングする楽しみを満喫させてくれるXM。シトロエンが提示したこのニュー・アクティブセーフティというコンセプトは、これからの21世紀の車の方向を明確に示していくことでしょう。



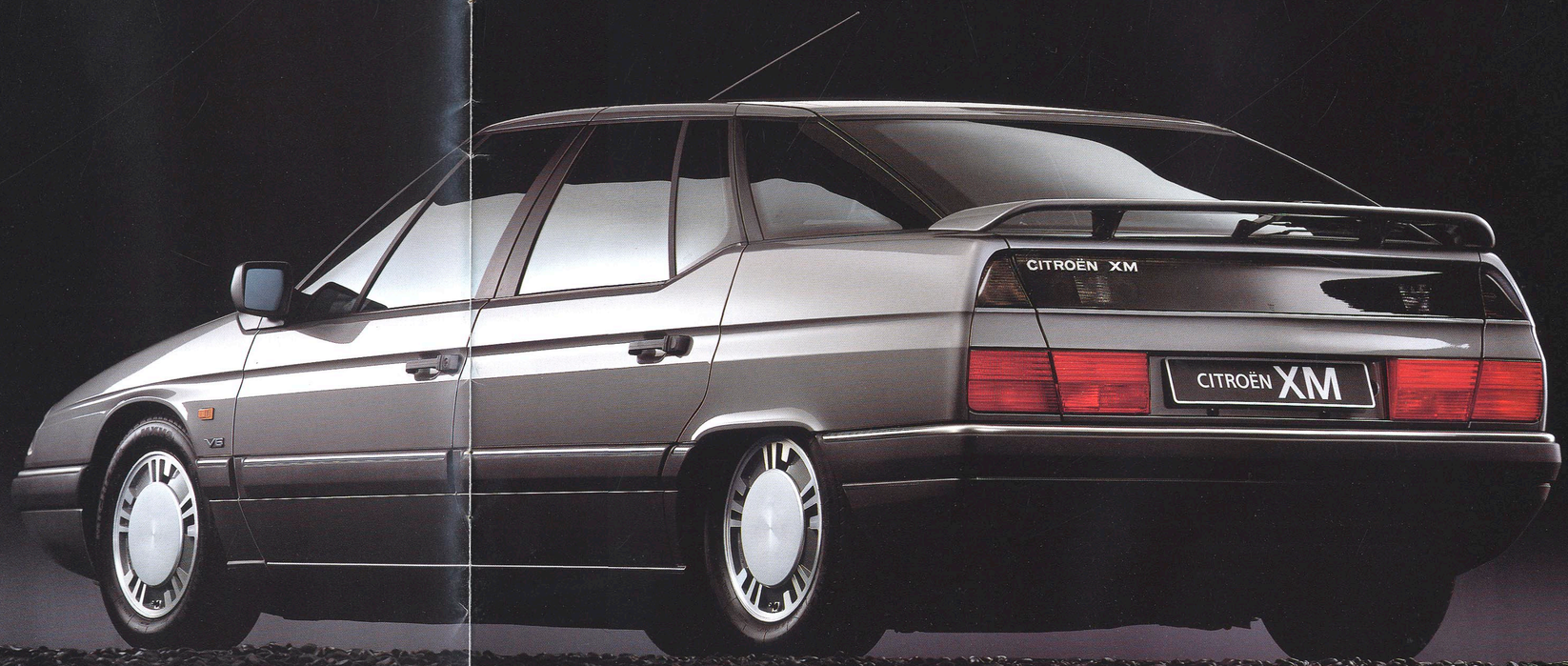
CITROËN XM

 PHOTO:XM BODY COLOR:グリドルメン アルミホイールはショップオプション



 PHOTO:XM BODY COLOR:グリドルメン　アルミホイールはショップオプション

CITROËN XM



12 PHOTO: XM BODY COLOR: グリドルメン　アルミホイールはショップオプション





PHOTO:XM　BODY COLOR:グリドルメン　　アルミホイールはショップオプション





メーターパネルは機能説明のために点灯させたもので、実際の走行状態を示すものではありません。

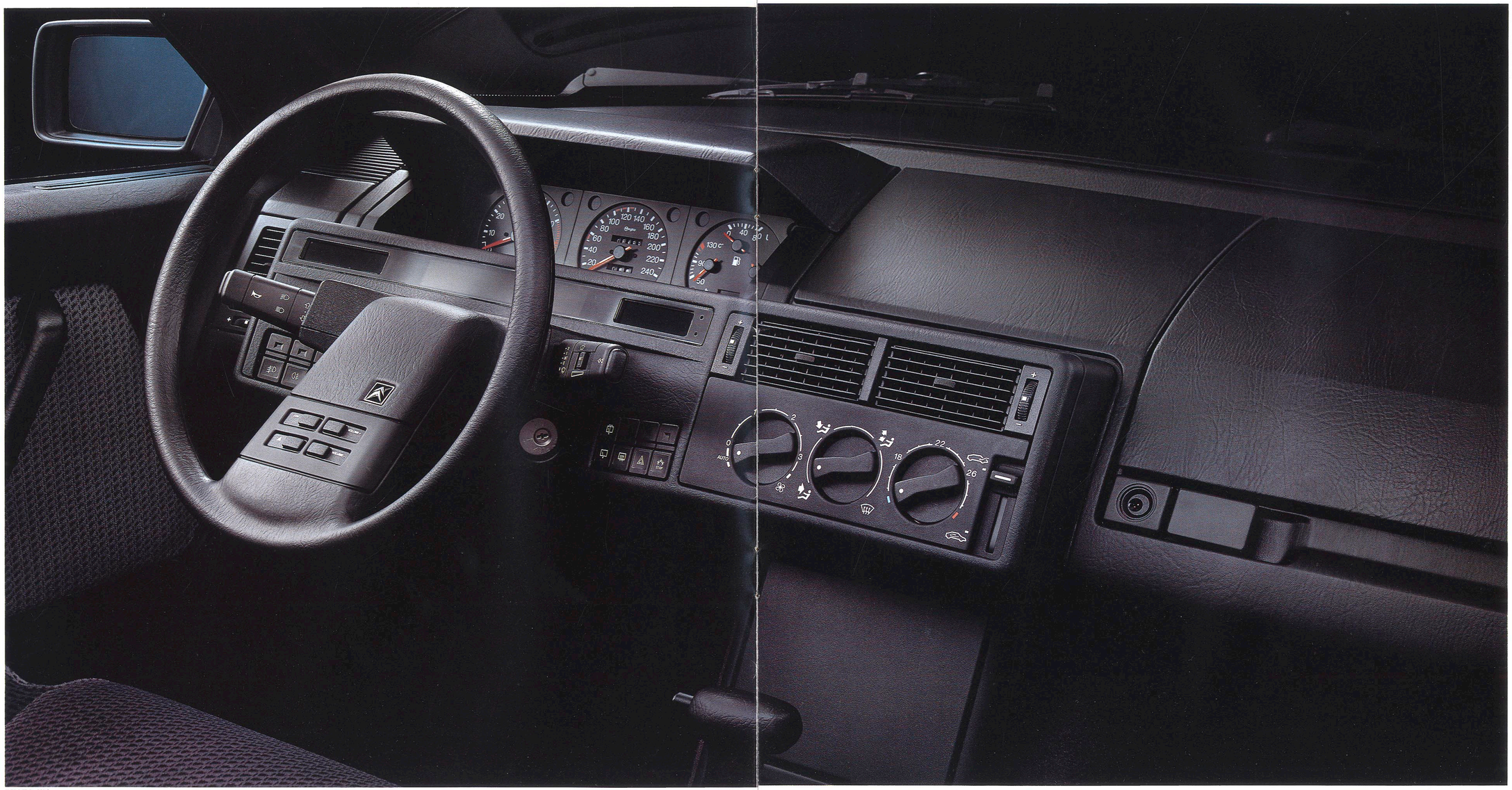


PHOTO: XM



PHOTO: XM





PHOTO: XM　BODY COLOR: グリドルメン　アルミホイールはショップオプション



PHOTO:XM-X

PHOTO:XM-X BODY COLOR:ブルーマスク



PHOTO:XM-X

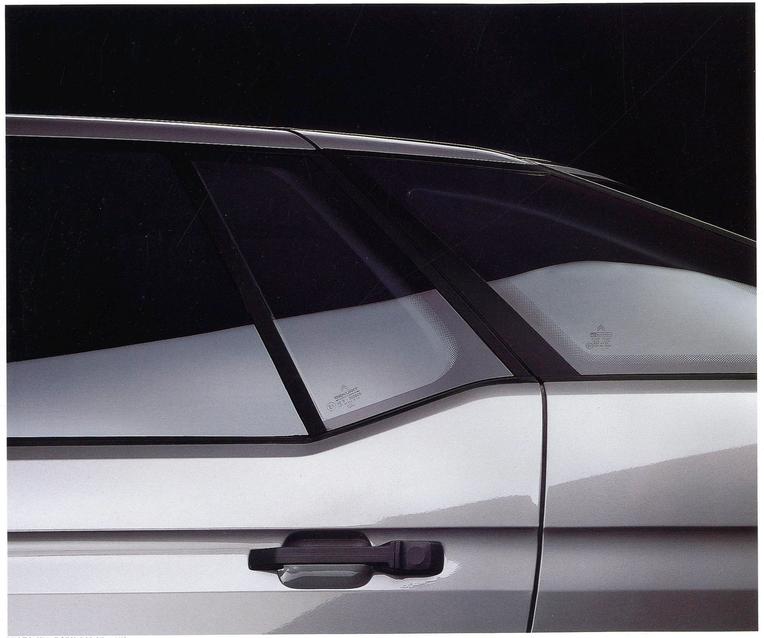


PHOTO:XM　BODY COLOR:グリドゥメン

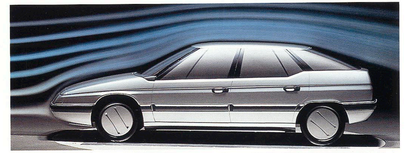
STYLE AND EFFICIENCY

コンテンポラリー・アートとエアロダイナミクスの結晶とも言えるシンプルで美しいフォルム。次代の最高級サルーンとしての気品と、
知的でフランス車らしい個性。芸術性と先進のイメージを強調したベルトーネ・デザイン。
徹底したフラッシュサーフェス設計により生み出されたグラスラインは、独創性にみちあふれたシトロエン独特の妖しい魅力を秘めています。

シトロエンに関して、とくにモーター・ジャーナリストの方々にある定評があります。それは「シトロエンは、一度決めた形をなかなか変えない、実に頑固である。しかし、いったん変えるとなると、それは時代を一歩も二歩もリードした先鋭的なものになる」という高い評価です。

XMは、どのクルマにも似ていない。
強烈な個性を放つ、気品と先進のスタイリング。

事実、シトロエンが生み出してきたニューモデルは、このXMの祖父にあたるDS、そして父にあたるCXを思い出すまでもなく、そのたびに多くの衝撃を伴い、世の中に少なからぬ波紋を広げてきました。そして1989年、シトロエンから15年ぶりにその頂点を極める車としてデビューしたプレステージ・サルーン、シトロエンXMは、期待にたがわず個性的で、次代の車を予感させる斬新なプロポーションを磨きあげています。
シトロエンの、XMのスタイリングに対する考え方は、他を意識した差別化というよりも、自らの強烈な個性を最重要視する思考とでもいうべきものです。インディビデュアル＝個人の自由と存在をなによりも大切にするフランスならではの発想といえるでしょう。
さらに、XMのデザインには、同時にシトロエン伝統のエアロダイナミクスの思想がもちろん見事に継承されています。こうして、世界的なカー・デザイナーであり、最近のシトロエン車のスタイリングの第一人者である、N・ベルトーネのデザインによるキリッと直線を強調したXMの先進的なフォルムが造形されたのです。
フロントラインは、ウェッジ型に鋭く絞りこまれたスラントノーズがまず特徴的です。この線は傾斜が強く美しい多次元カーブをもつフロントウインドーへと流れるように伸びています。さらに一体式フロントグリルとわずか高さ7cmという超薄型のコンプレックスサーフェス・ヘッドランプが創り出すクリスタルでコンテンポラリーなマスク。エアダム一体式バンパーやバンパーエプロンに組み込まれたフロントフォグランプとフラッシャーランプ。これらが構成する表情は、まさに現代アートとでも言うべき独自の個性を作っています。
サイドにまわると、この印象はさらに強められます。くさび型のシャープなサイドライン。フロントからリアバンパーまで一直線に流れるクロームメッキエッジモール付サイドプロテクター。高級サルーンでありながら、まるでスポーツカーのような走りの雰囲気を醸し出しています。
さらに、なんと言っても特筆すべきは美しい曲面ガラスのサイドウインドービューでしょう。サイドミラーとガラス面はフラッシュサーフェス化され、空力特性を上げるだけでなく「光の帯」と言えるようなグラスエリアを創造し、シトロエンXMの流麗でグラスフルな表情を作っています。最後に、リアライン。ここではスポーティなリアスポイラーが、高級車としての品位を大切にしながら、なおかつ、若きエグゼクティブが漂わせる活動的な魅力にも似た印象を漂わせています。



シトロエンXMは、CD値では0.30というすぐれた数値を達成。クルージング・サルーンとしての資質を証明しています。10年単位で考え、ブラッシュアップされたフォルム、90年代のサルーンの方向を鮮やかに予感させる個性的なシルエットは、あらゆる走りのシーンで明快なシトロエンの独創性を示すことでしょう。

"The difference"それは、シトロエンに受け継がれる伝統です。



PHOTO:XM-X

INTELLIGENT AMENITY

フロントウインドーへ向かって伸びやかに広がるインストルメントパネルの造形美。人と車の密度の高いコミュニケーションを図るコンピュータ・ディスプレイによるさまざまな情報。そして、落ち着いた雰囲気を醸成するローズウッドパネルと、しっかりと身体をホールドする本革のシート(XM-X)。まさに、シトロエンならではのカルチュラルでインテリジェントな室内環境です。

洗練された大人の感性とくつろぎを感じるインテリジェントな室内環境がそこにある。

ヨーロッパのアートの中心として、芸術や文化に限りなく身近に生活しているフランス人。しかも何百年にもわたって、ファッションの発進地としてその美的センスを磨きあげてきたフランス人。この国の人々が選んだ洗練は、やはりどこか違います。XMのインテリアには、高級車がもつ高品質でゆたかなくつろぎに加えて、知的環境とでもいえる、品の良いエッセンス、エレガントさを感じさせるものがあります。

まず、XMのキャビンに座ってどなたもが感じられるのは、こうしたこれまでに経験したことのない、人間的でカルチュラルな空間から生まれるこころの開放感ではないでしょうか。

機能を第一とし、ともすると理論だけの合理性から造りだされた空間、そこにいる人間を感じさせない空間、そうした環境とは対極にXMの室内環境のコンセプトはあります。

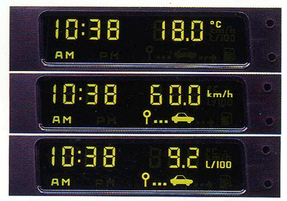
このヒューマンで、のびのびとした開放感を創出しているのは、フロントウインドーに向かって、ゆるやかなカーブを描きながら、奥深くのびていくインストルメントパネルの造形でしょう。凸凹のない平面化された広がりが、ドライバーの気持ちをあくまでも自由な領域に広げていきます。

スピードメーター、タコメーターなどのグラフィックは、さすがにアートの国フランス、シンプルな中に高いデザイン性を感じさせます。さらに、こうしたアーティスティックな環境の中に最先端のコンピュータ技術がさりげなく、溶け込まされています。

計器盤右のディスプレイには多機能トリップ・コンピュータにより、外気温度、瞬間燃料消費量、平均燃料消費量、平均速度などを表示。

また左側にはドット・マトリックス表示により、22項目に及ぶドライビングに関するさまざまな助言情報や緊急警告が与えられ、人と車の密度の高いコミュニケーションが図られています。また、ゴージャスなローズウッドパネルや高級本革シートも採用(XM-X)。書斎やゲストルームにいる落ち着きと、リッチな感じを演出しています。フロントシートは電動調整式です。ドライバーはチルト&テレスコピック(前後調整)式ステアリングホイールと合わせて、ご自分の理想的なドライビングポジションが設定でき、さらに助手席に同乗された方も最適なポジションを同様に選択でき、ドライビングの疲れを最小限にしています。フロントシートのバックレストの背面は後部座席の方の視界を妨げないようにシンプルな形にしています。シートは前後席ともヒーターつきです(XM-X)。フロントシートのヘッドレストは高さ・角度調節が可能。また、パーキングブレーキには、便利で使いやすい足踏式を採用しています。





空調については、XMはオートモードで温度設定すると風量調節を自動的に制御するオートエアコンを装備。XM-Xは風量調節に加え、吹出しモード選択、外気導入・内気循環の選択を自動制御するフルオートエアコンを装備しています。さらに、最大限の快適さを提供する防音性、気密性も、後部のエクストラウインドーに代表されるようにキメ細かく対策されています。

XMには、何百年にも及ぶ欧州のカルチャー、車文化の遺産、そして、現代の知性が醸し出す品位、一朝一夕には身につけることのできない磨き抜かれた美意識があります。それは、フランスのアッパーミドル層がもつ、車の快適さに対する一つの規範といえるでしょう。

——————— ここには、フランス人ならではの快適さに対する嗜好が反映されています。



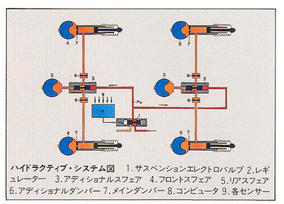
PHOTO:XM　BODY COLOR:グリドルメン　アルミホイールはショップオプション

COMFORTABLY IN CONTROL

つねに時代の一歩も二歩も先をいく、インテリジェントな革新のサスペンション・システム「ハイドラクティブ・サスペンション」。
ニュー・アクティブセーフティの思想を具現化した、シトロエンXM独創のメカニズム。道を読み、風を読み、
そして、ドライバーの反応までも予知する先進の機構です。

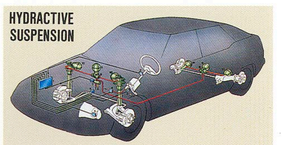
変化を予知し、瞬時にハードモードへ変換する独創のハイドラクティブ・サスペンション。

シトロエンは、サスペンション技術に関してもつねに世界をリードしてきました。これまでのシトロエンの数々の名車に採用されてきたハイドロニューマチック・サスペンション。これは、金属のバネに代わって窒素ガスとオイルの油圧の相互作用によって機能する独創的なサスペンション・システムで、極めて高い評価を得てきました。
この前衛的な機構をさらに発展させ、いわば第二世代のハイドロニューマチックとして開発されたものが、XMに搭載されている「ハイドラクティブ・サスペンション」です。最新のコンピュータ・エレクトロニクスを駆使し、センサーによって道路や運転の状況を予知し、自動的にサスペンションを変化させ、車の姿勢を安全にコントロールする力を持たせた先進的なサスペンションです。
「ハイドラクティブ」は、これまでのハイドロニューマチックを超えて、構造的にもさまざまな進化がなされています。従来は、前後左右に計4つのスフェア(球体)があり、この中の窒素ガスとオイルがスプリングとダンパーの役割をしていましたが、ハイドラクティブではさらにスフェアを前後にそれぞれ一つづつ追加し、合計6つのスフェアを使用しています。この2つのアディショナルスフェアを設けたことでサスペンションをソフトモードからハードモードへ、さらに反対へと自由に変えることが可能になりました。
ハイドラクティブでは、状況にあわせて自動的にサスペンションが変化するオートマチックモードと、マニュアルのスポーツ(ハード)モードが選択できます。とくに、オートマチックモードでは車のピッチングやロール、ヨーを予知してコンピュータがダンピングとスプリングの両方をコントロールし、ソフトモードからハードモードへ、又は逆にと車が知的にサスペンションを選択します。



ハイドラクティブ・システム図　1.サスペンションエレクトロバルブ 2.レギュレーター 3.アディショナルスフェア 4.フロントスフェア 5.リアスフェア 6.アディショナルダンパー 7.メインダンパー 8.コンピュータ 9.各センサー

ハイドラクティブのコンピュータは、5つのセンサーからの情報を受け、プログラムされた情報と比較し、ダンピング容量を調整します。この切り替えは極めて緻密なもので、以下のセンサーを使って、車のすべての走行状態をコンピュータでモニタリングしているのです。
センサーは第一にギアボックスに設置。ここでは現在の速度、加速・減速かの速度状態などベーシックな情報を得ています。第二はアクセルペダルの作動、踏み具合、時間などを検出。第三



はステアリングコラムにあり、これは操舵角度、操舵速度などを検知。第四はブレーキ回路に設定され、フロントブレーキの油圧をモニター。そして、最後はアンチロールバーで、ボディの揺れ、ボディの沈み込みを検出します。こうして得られたデータはすぐに解析され、人間が感知することのできない0.05秒以下という超スピードのリアルタイムでハードorソフトのどちらかにサスペンションを切り替えます。
その結果、急発進、急制動、急旋回といった「急」のつく動作が行われても、ボディの姿勢変化は最小限に抑えられるという、驚異的な性能をもったインテリジェント・サスペンションが誕生したのです。このほかにも、ハイドラクティブは、車高を4段階に変えられる便利なハイトコントロール機能やどんな荷重状態でも常に路面と平行状態を保つセルフレベリング機能を持っています。シトロエンXM独特の、その高速で風を切り裂いていくリムジンのような乗り心地と、ワインディングロードでのスポーツカーのような敏捷性という相反する要素の素晴らしいコンビネーションに、思わず感嘆の声を上げてしまうことでしょう。

―――――――― シトロエンは、クルマを通してつねにサイエンスを語り続けます。



PHOTO:XM

CRUISING PLEASURE

シトロエン伝統のクルージング・サルーンとしてのすぐれた資質。ロングホイールベース設計から生まれる操縦安定性と高速での直進安定性。
独自の味わいがあるセルフセンタリング・ステアリング・システム。機敏に意思に反応するZF製4段オートマチック。
このXMはそれを駆るたびに、車に乗る深い喜びを与えてくれます。

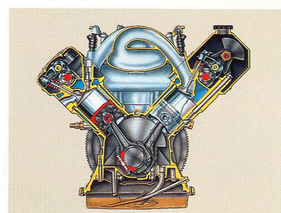
V6・3ℓ、電子制御エンジン、4段オートマチック。ポテンシャルを秘めたクルージング・サルーン。

シトロエンXMは、仏の最高級プレステージ・カーとしての香り豊かな気品を大切にしながら、同時にスポーティな走りの魅力をも秘めています。それは、シトロエンのモータースポーツの伝統から継承されたクルージング・マシーンとしての血統といえるでしょう。速度制限のないヨーロッパのフリーウェイをぐんぐん飛ばし、欧州の並みいるグラン・ツーリスモたちと互角に、いやそれ以上にそれらを追い抜いていくパワフルな資質をXMは当然受け継いでいます。

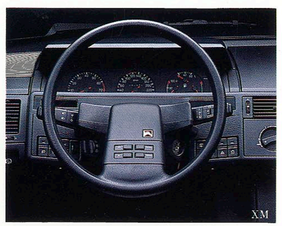
エンジンは、3.0ℓV型6気筒。軽量化のためのアルミ合金製の最新鋭エンジンです。30°の位相差をもったクランクシャフトを備え、さらに片バンク(前側)のカムカバー内にはバランスシャフトを収めて、エンジンのバランスを良くし、静かで心地よいエンジン音を醸し出しています。

フューエルシステムは、電子制御インジェクションを採用。さらに点火システムにメインテナンス軽減型プラグを使用。最高出力170ps／5,600rpm(DIN)、最大トルク24.5kg-m／4,600rpm(DIN)を達成しています。その走りは、どちらかというと力強さというよりフレキシビリティに富み、バランスのとれたエンジンの回転が生む、静かな大器を思わせるクルージング感覚とでもいえるもの。ビロードの感触にも似た走りは、なぜか貴族的であり、そのスタイルに似てエレガントでもあります。そして、低回転域からレッドゾーンの始まる6,000回転までをフルに使ったなめらかな走りは、このXMの真骨頂の一つであるといえるでしょう。

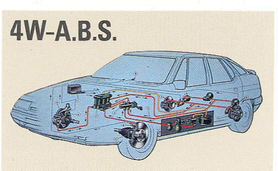
ステアリングは、車速感応型パワーステアリング(ラック&ピニオン式)。ロック・トゥー・ロックで3.2回。最小回転半径5.8mというコンパクトな切れ味を生んでいます。パワーにはハイドロリックのオイル油圧を活用。さらに、これは100%ステアリングを切っても、すぐに直進方向にステアリングが戻るシトロエン独特のセルフセンタリング・システムにも使われ、クイックなハンドル操作と駐車などでのハンドリングの容易さにつながっています。その独特のハンドリング感覚は、シトロエンを駆る魅力のひとつといえるでしょう。



ミッションは、欧州の多くの名車も採用している世界的に有名な西独ZF社製のロックアップ機構付4段オートマチック・トランスミッションを採用。4HP・18と呼ばれるミッションはセンターコンソールのセレクトレバーで7ポジションを選択できます。なお、ダッシュボードのマルチインジケーター部には、その時選択されているポジションが発光表示されます。



XMのブレーキシステムはハイドロリックブースター方式。このシトロエン独自の効きのいい4輪ディスクブレーキに加えて、新世代の4輪アンチロックブレーキシステム(4W-ABS)も当然搭載し、路面の状態や運転の技量に関係なく、ホイールをロックから防ぎ、つねに安定した制動力を提供し、その俊敏なパワーを自在に制御しています。



クルージング・サルーンの血は、XMにも脈々と流れています。



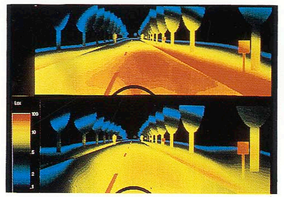
PHOTO:XM　BODY COLOR:グリドルメン

PRECISION AND SAFETY

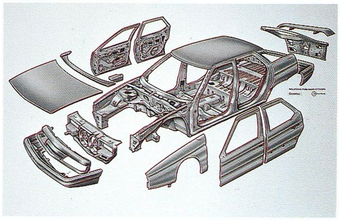
道をくまなく効率的に照らす、超薄型コンプレックスサーフェス新ライティングシステム採用。
亜鉛被膜厚10ミクロンで保護された頑強な0.8㎜厚鋼板のモノコックボディ。万一の際の安全性を考慮した衝撃吸収バンパー。
後席3点式シートベルトの採用など、安全性をあくまでも積極的にアクティブに考えた結果です。

「アクティブセーフティ」から発想された コンプレックスサーフェス新ヘッドランプシステム。

シトロエンXMは、アクティブにその安全性の向上にチャレンジしています。そのためには、前述したハイドラクティブ・サスペンションだけではなく、トータルな意味での事故を積極的に防ぐというセーフティの発想が根底にあります。
そして、この考え方の顕著な現れのひとつが、欧州で量産車に初めて搭載された、新開発のライティングシステムといえるでしょう。
その設計にはコンピュータの先端設計システムCADがフルに使われています。反射鏡は表面上の50,000ポイントの測定データをインプットし、それをもとにコンピュータ設計されたもの。新開発のコンプレックスサーフェス・ヘッドランプはその結果、路面を明るく照らすことはもちろん、対抗車に対しても眩しくない、精緻な設計で高効率の反射面を獲得しました。
このコンプレックスサーフェス・ヘッドランプは一般のヘッドランプに比べ、ディップ光線の効率を45%も向上させて、内部の結露防止などにも細かい配慮をしています。また、形状が垂直方向で7cmと超薄型のために、XMのフロントデザインにおいても威力を発揮しているのはすでにご説明した通りです。さらに、一般のヘッドライトの場合、ロービームからハイビームへと切り替える時に、一瞬ライトの消えた状態(ブラックホールとでもいうもの)が発生します。シトロエンではこの問題にも対処。ロービームを消さずに、ハイビームを



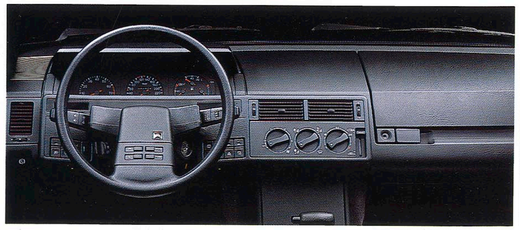
点灯するために、瞬間の暗転がないリアルタイムの点灯が可能になりました。これも運転者の視覚の安全に貢献するシステムです。XMの独創的なサスペンションによる、つねに車高を一定に保つ性能も、ヘッドライトの視界を一定にするのに役立っています。さらにリアコンビネーションランプでも、ブレーキランプやパーキングランプ、リアフォグランプをツインにして視認性を高め、後方への安全性に配慮しました。
つぎに、XMはそのクオリティの高さを語る必要があります。自動化率では世界一であるXM専用のファクトリーから、ロボットを多用して生産されている高品質のXMは、その塗装や抗浸食性に高い注意を傾注しています。合計7億5,000万ポンドにのぼるXMの開発投資のうち、1億2,500万ポンドを抗浸食性と塗装分野に投入したという事実からもその規模がおわかりいただけることと思います。
その結果は厚さ0.8㎜の鋼板を採用し、しかもなんとXM全体の鋼板の76%が亜鉛前被覆処理という贅沢な仕様です。また、ドアやボンネットにも防音材を多用し、塗装も多重層(5層)に及ぶクリアペイント仕上げとしています。
さらに、XMに乗るということは、国産では求められない高い安全性を獲得するということでもあります。たとえば、当然のごとく安全性を考慮した衝撃吸収バンパーを採用。さらにフロントシートにはアンカーアジャスター付3点式シートベルトを装備し、後部にも3点式シートベルトを贅沢に採用しています。とくに、XM-Xのフロントシートには万一の時にドライバーと助手席のゲストをシートに押しつける効果があるプリテンショナー機構付シートベルトを採用。加えて、モノコック構造のボディなど、目に見えない部分での、アクティブなセーフティへの配慮は万全といえるでしょう。



シトロエンは、セーフティもクオリティの一部と考えています。



BODY COLOR: グリドルメン　アルミホイールはショップオプション





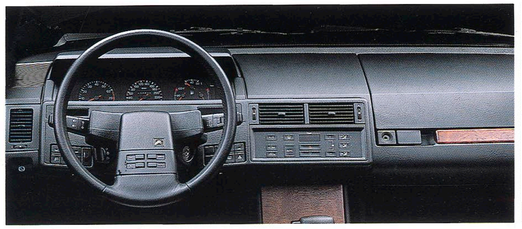


XM

主な装備　●バンパー内蔵フロントフォグランプ●ツインリアフォグランプ●カラードリアスポイラー●車速感応型パワーステアリング●盗難防止装置付オーディオシステム●赤外線キーレスエントリーシステム●オートエアコン●4輪アンチロック・ブレーキシステム●205/60 R15 91Vスチールラジアルタイヤ



BODY COLOR: ブルーマンフィ

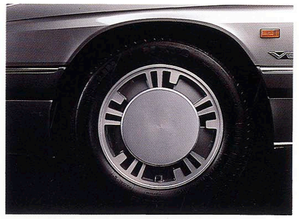






XM-X

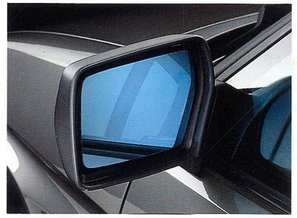
主な装備　●フルカラードバンパー●本革巻ステアリング●ローズウッドパネル●フルオートエアコン●プリテンショナー機構付フロントシートベルト●フロント&リアヒーテッドシート●電動調整式フロントセンターアームレスト●205/60 R15 91Vスチールラジアルタイヤ●6J×15インチ　アルミホイール



205／60R1591Vミシュラン MXV2
XMの走りをしっかりと支えるミシュランラジアル。ハイドラクティブと相まってしなやか走行性能を達成します。



ツインリアフォグランプ
視認性にすぐれた大型のコンビネーションランプ。とくにリアのフォグランプは安全性の高いツインタイプです。



デフォッガー付電動ドアミラー（防眩タイプ）
ワンタッチで最適な位置にセットできる電動ドアミラー。デフォッガー付で曇ることなく、見やすい防眩タイプです。



チルト＆テレスコピックステアリング
ステアリングの位置が上下、前後に動くために、これを調整して理想的なドライビングポジションが設定できます。



オーディオ・リモート・コントロール
ステアリングホイールにあるリモコンスイッチで、オーディオシステムの音量調整や選局などが簡単にできます。



フルオートエアコン（XM-X）
風量調節に加えて、吹きだしモード選択、外気導入・内気循環の選択を自動制御するフルオートエアコンを装備。



電子盗難防止システム
あらかじめインプットしておいた暗証番号と一致しない場合、エンジンに燃料が噴射しない電子盗難防止システム。



赤外線キーレスエントリーシステム
たとえば、荷物をもったまま、ドアに手を触れずキーを使わず、ドアのロック・解除ができる先進のシステムです。



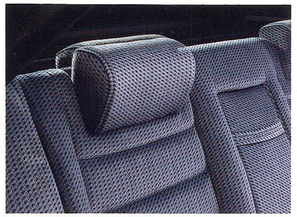
プルオープンタイプ照明付グローブボックス
軽く引くだけで開くプルオープンタイプの大型グローブボックス。照明つきですから、夜間でも大変便利です。



ドットマトリックス警告システム
計器盤左のドット・マトリックス表示によって、警告音の後に、助言情報または緊急警告が与えられます。



アンカーアジャスター付フロントシートベルト
身体の大きさに合わせて、シートベルトの付け根の高さが調節できます。胸を締めつけられる感触がありません。



ヘッドレスト調整機能
ヘッドレストは、運転者や同乗者の身体に合わせて、高さと角度を自由に調整することができます。



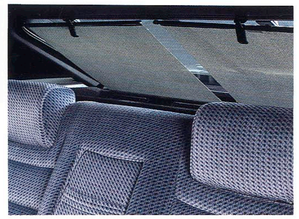
電動スライド・リクライニング・フロントシート
ドライバー、及び助手席の同乗者の方が電動で理想的なドライビングポジションにセッティングすることができます。



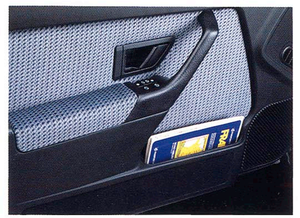
ヒーテッドシート（XM-X）
真冬でもシートはポカポカと陽だまりのよう。XM-Xのシートは、フロント・リアともにヒーテッドシートを採用。



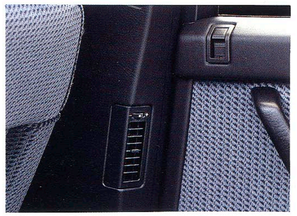
フロント電動調整付センターアームレスト（XM-X）
フロントシートにあるセンターアームレストは電動式で調整できます。ゆったりと肘をかけての運転に便利です。



リアカーテン
後方からの視線や強い日差しをカットするだけでなく、室内の雰囲気を高めるオシャレなインテリアにもなります。



フロントドアポケット／ドアトリム小物入れ
地図や小物などの収納に便利なドアポケット。ドアトリム小物入れ。オーディオソースのカセットもここに収納。



後席用空調ダクト
冷暖房や換気の際、空気の流量と方向の両方を調整可能な空調ダクトをリアにも備えています。

SPECIFICATIONS

通称名	シトロエンXM	シトロエンXM-X
ボディタイプ	4ドアハッチバック	4ドアハッチバック
車名・型式	シトロエン・E-Y3SF	シトロエン・E-Y3SF
エンジン	3000 OHCインジェクション	3000 OHCインジェクション
機種名	XM(レベル3)	XM-X(レベル1)
変速機形式・変速段数	オートマチック・4段	オートマチック・4段

■ DIMENSION & WEIGHT

全長 mm	4,710	4,710
全幅 mm	1,795	1,795
全高 mm	1,395	1,395
室内長 mm	1,890	1,890
室内幅 mm	1,480	1,480
室内高 mm	1,180	1,180(1125)※
ホイールベース mm	2,850	2,850
トレッド前 mm	1,520	1,520
トレッド後 mm	1,450	1,450
最低地上高 mm	140	140
車両重量 kg	1,480	1,490(1510)※
乗車定員 名	5	5

■ PERFORMANCE

最小回転半径 m	5.8	5.8
制動停止距離 m(初速50km/h)	13.5	13.5
10モード燃費(運輸省審査値) km/ℓ	5.8	5.8

■ ENGINE

型式・種類	SF 水冷V型6気筒OHC	SF 水冷V型6気筒OHC
総排気量 cc	2,975	2,975
内径×行程 mm	93.0×73.0	93.0×73.0
圧縮比	9.5	9.5
最高出力(DIN) ps/rpm	170/5,600	170/5,600
最大トルク(DIN) kg-m/rpm	24.5/4,600	24.5/4,600
燃料供給装置	電子制御燃料噴射	電子制御燃料噴射
燃料およびタンク容量 ℓ	無鉛プレミアム 80	無鉛プレミアム 80

■ DRIVE TRAIN

クラッチ形式	3要素1段2相形(ロックアップ機構付)	3要素1段2相形(ロックアップ機構付)
変速比1速	2.316	2.316
変速比2速	1.263	1.263
変速比3速	0.898	0.898
変速比4速	0.666	0.666
後退	2.589	2.589
減速比	4.277	4.277

■ CHASSIS

ステアリングギア形式	ラック & ピニオン式	ラック & ピニオン式
サスペンション・前	マクファーソンストラット	マクファーソンストラット
サスペンション・後	トレーリングアーム	トレーリングアーム
サスペンションシステム・前後	ハイドラクティブ式	ハイドラクティブ式
スタビライザー・前後	トーションバー式	トーションバー式
主ブレーキ形式	油圧式4輪ディスク	油圧式4輪ディスク
作動系統および制動車輪	2系統 前2輪・後2輪	2系統 前2輪・後2輪
タイヤ・前後	205/60 R15 91V	205/60 R15 91V
ホイール・前後	6J×15	6J×15

※カッコ内の数値はサンルーフ装着車(オプション)のものです。

EQUIPMENT

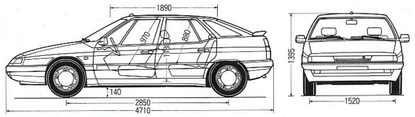
装備	機種	XM	XM-X
■ EXTERIOR			
フロント安全合わせガラス		○	○
クロームメッキ付サイドプロテクターモール		○	○
フルカラードバンパー			○
カラードバンパー		○	
カラードリアスポイラー		○	○
デフォッガー付電動ドアミラー(防眩タイプ)	ボディ同色		○
	樹脂色	○	
コンプレックスサーフェスハロゲンヘッドランプ		○	○
フロントバンパー内蔵フォグランプ		○	○
ツインリアフォグランプ		○	○
チルトアップ機構付電動ガラスサンルーフ			▲
■ INSTRUMENT PANEL			
車速感応型パワーステアリング		○	○
ステアリングホイール(オーディオコントローラー付)	本革巻1本スポーク		○
	ウレタン1本スポーク	○	
チルト&テレスコピックステアリング		○	○
ローズウッドパネル			○
電子盗難防止システム		○	○
ドットマトリックス警告システム		○	○
警告ディスプレイパネル		○	○
多機能トリップコンピュータ(時計付)		○	○
カーテレフォン		△	△
盗難防止装置付オーディオシステム	AM/FM電子チューナー付カセットデッキ	○	○
	6スピーカー	○	○
	CDデッキ(オートチェンジャー)	△	△
■ INTERIOR			
運転席ワンタッチパワーウインドー		○	○
フロント,リアパワーウインドー		○	○
赤外線キーレスエントリーシステム		○	○

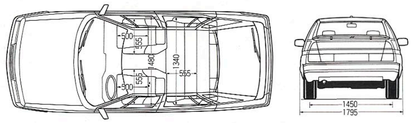
○標準装備 ▲オプション △ショップオプション

装備	機種	XM	XM-X
■ INTERIOR			
エクストラウインドー		○	○
リアカーテン		○	○
リアドアチャイルドプルーフ		○	○
イルミネーティッドエントリーシステム		○	○
センターサンバイザー		○	○
照明付バニティミラー(助手席)		○	○
プルオープンタイプ照明付グローブボックス		○	○
エアコン※	フルオート		○
	オート	○	
■ SEAT			
シート地	本革		○
	ベロア	○	
シート	電動スライド(運転席、助手席)	○	○
	電動リクライニング(運転席、助手席)	○	○
	電動ハイト(運転席)	○	○
	サイドサポート調整機構		○
フロントシートベルト	プリテンショナー機構		○
	アンカーアジャスター	○	○
3点式リアシートベルト		○	○
可倒式リアシート		○	○
フロント&リアヒーテッドシート			○
フロント電動調整付センターアームレスト			○
■ MECHANISM			
ハイドラクティブサスペンション		○	○
ブレーキ	4輪ディスクブレーキ	○	○
	4W-ABS(4輪アンチロック・ブレーキ・システム)	○	○
205/60 R15 91V ミシュランMXV2		○	○
6J×15インチ アルミホイール		△	○
6J×15インチ スチールホイール		○	

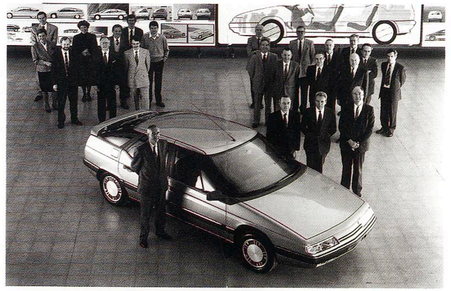
※後席用空調ダクト付

DIMENSIONS





※この車は、無鉛プレミアムガソリンをご使用ください。※▲オプション車につきましては、納車までに時間のかかる場合がありますので、くわしくはショップマンにおたずねください。■道路運送車両法による新型車届出書数値■燃料消費率は定められた条件のもとでの値です。実際の気象・道路・車両・運転・整備などの条件により燃料消費率が異なってきます。■日本で販売されるクルマの仕様は、細部でカタログ写真と異なる場合があります。■速影、印刷条件によりボディカラー及び内装色が実車とちがって見えることがあります。■本仕様は予告なく変更することがあります。



シトロエンは、つねに
アヴァンギャルドの道を歩んできました。

シトロエンの歴史を省みる時、そのつねに革新性にとんだ開発姿勢を語らなければなりません。トラクション・アヴァンに代表されるシトロエンの先駆性、さらにエアロダイナミクス思想から生まれる斬新なフォルム、そして、世界的にユニークなサスペンション・システム「ハイドロニューマチック」の開発と、時代を先取りした先進の機能をそのニューモデルに搭載してきました。シトロエンほど時代に話題を提供し、そのたびに衝撃を与えてきたメーカーは世界に多くはありません。シトロエンはこうした伝統の元に、いつの時代にも一歩先を歩んでいるという自負を持っています。シトロエンはそのスタイルに、またそのメカニズムに、しっかりとしたシトロエンらしい文法のもと、独自の文脈で独創的な文章を書く、そんな気概を大切にしています。今、新たにデビューしたシトロエンXMも、そうしたシトロエンのアヴァンギャルドな伝統を見事に継承したひとつの形といえるでしょう。

1990年ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー受賞

1990年、ヨーロッパ17ヶ国を代表する57人のジャーナリストたちによって選ばれる、ヨーロッパでもっとも権威ある賞「ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー」をシトロエンXMは見事に受賞しました。また、XMは現在までのところヨーロッパにおいて、以下の数々の賞を受賞しています。

"The prize for technical innovation"（フランス）
"The golden flake"（フランス）
"Most attractive car of the year"（フランス）
"The best executive car"（イギリス）
"Best hauler"（イギリス）
"The golden steering wheel"（ドイツ）
"Auto Europa 90"（イタリア）
"Two golden horns"（ベルギー）
"Best design of the year"（スペイン）
"Car of the new era"（フィンランド）
"Car of the year"（北アイルランド）

EUROPE
CAR OF THE YEAR
1990

BODY COLOR

グリクリスタル（XM）

ブルーマンフィ（XM・XM-X）

ルージュデラージュ（XM）

グリドルメン（XM・XM-X）

ベールベガ（XM-X）

ノアール（XM・XM-X）

ルージュマンダリン（XM-X）

シトロエンXMに注目されたあなたのすぐれた選択眼とセンスに拍手を贈りたい。

●このカタログは1990年10月現在のものです。お問い合わせはお近くのユーノス販売会社またはユーノスお客様相談センターへどうぞ。〒100 東京都千代田区内幸町1-1-7 03(508)5111 UKC140

●製造事業者名／オートモビルズシトロエン社

EUNOS